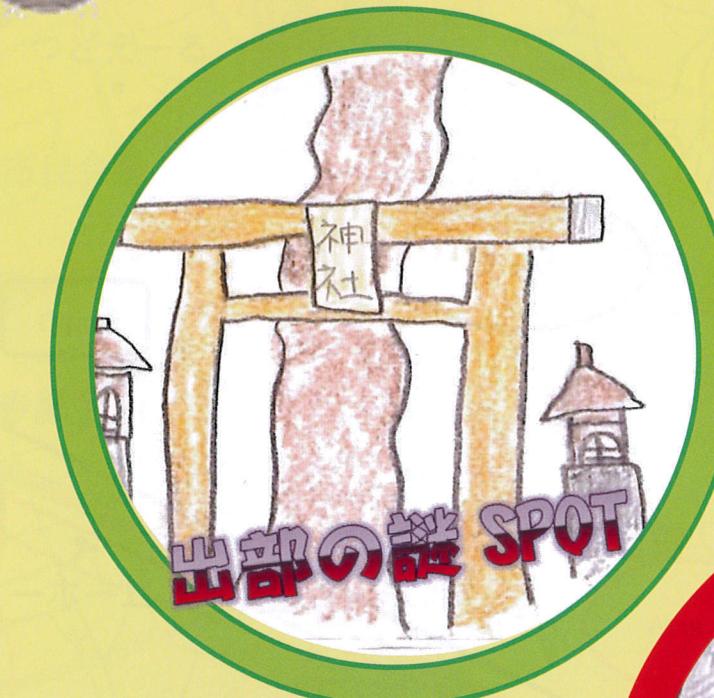


ひとつくりのまち井原

LOVE ZUE



製作 井原市立出部小学校 第6学年







史の町出部

金敷寺・金鳴寺

KANASHIKI-Temple
KANASHIGI-Temple

井原市笠賀町。国道313号線を神辺方面に向かい、ホームセンターの向かい側にあるお寺です。金鳴寺の入り口には阿形像(あぎょうぞう)(右) 像高352.0cm、吽形像(うんぎょうぞう) 像高360.0cmがあり、どちらも(ひのき)材の寄木造りです。全体的に保存状態もよく、形、制作技法などから平安時代末期の作と推定されています。平安時代の金剛力士像は、この像を含めて全国に6例(京都など)しかなく、岡山県下に残る平安仏の中で最大の巨像です。これらの仁王像は1989年に県の有形文化財に指定されました。



金鳴寺の山門では阿吽像が迎えてくれます。すぐ近くに立てるので、間近で見ることが出来ます。朱色が残っていて、出来たときはすごくきれいで、もっと迫力があったんだろうなと思います。また、2つの像の間に立つと、力がわいてくるような、胸がすっきりするような気分になります。



詳しい行き方はこちら

Map1



七日市方面
Nanukaichi

Area 1



武速神社

Takehaya-shrine

七日市公民館の近くにある。お堂がたくさんあって、初詣のお参りに行くことが多い。ヤマタノオロチをたおしたとされる、スサノヲミコトが祀られている。

社殿は江戸時代の末期、塩飽大工の棟梁・茂兵衛が建立したとされる。とりわけ本殿基礎部分の石垣は細密な細工で組み上げられているのが特徴で、石垣の高さは約2.4m、四方は各9m前後ある。



奉
武速神社
壬戌年一月一日



ほかにも、七日市には紹介しきれないくらいたくさんの史跡があります。上の写真は「本陣屋敷跡の記念碑」(伊達大蔵)、お百度参りの時の指標になる「百度石」、川を舟で行き来していた頃の船着き場「七日市駅跡地」です。



笠賀方面
Sasaga

Area 2



稻荷神社

Inari-shrine

出部小学校近く。国道313号線のわきにある。特徴は鳥居が4~5つもつながっている。

雰囲気はまがまがしい、古さを感じる。きもだめしが出来そうな感じの場所です。

日本の歴史上、初めてお稲荷様が登場するのは西暦711年の2月。『山城国風土記(やましろのくにふどき)』に、秦伊呂具がお餅で作った的に弓を当てたところ、そこに宿っていた神靈がお餅を白鳥に変化させ、近くの伊奈利山に飛び、降り立った所に稻が実ったという「もちと白鳥の伝説」が残っています。



秦氏はこの神靈を祀るために、山に神社を創建し、それが今につながる稻荷神社の総本社、伏見稻荷大社の由来です。この風土記には、「伊奈利(いなり)」と書かれていますが、892年に菅原道真によって編纂された史書には「稻荷」という文字が記されています。このほか「稻成」「稻生」と書いて「いなり」と読む神社もあります。



上出部方面
Kamimoiz

Area 3



岩山神社

IWAYAMA-SHRINE

井原市上出部町1198。出部公民館から南に向かい、真っ直ぐ行くと鳥居が見えます。岩山神社の入り口には狛犬があります。階段を登るとジブリのアニメに出て来るような森の中に神社があります。中には、たくさんのお面がありました。御利益・御神徳は、開運招福や交通安全、心願成就などがあります。

御祭神は、吉備之中心地主神、吉備津彦命(キビツヒコノミコト)、大己貴命(オオナムチノミコト)です。



こいの川

出部小学校西門のすぐ近くにあります。昔から出部を支える水源として人々に愛されてきました。今は、わき水を守るために水源はフタでおおわれています。「こいの川慕情」という歌もあります。



鎌田城跡

鎌田兵衛尉正清は、源頼朝のもとで活躍した武将でした。出部の戸木荒神城主、長田庄司忠致の娘を妻にしたと言われています。正清は保元の乱・平治の乱で源為朝や平重盛の軍勢と勇敢に戦ったそうです。



下出部方面

shimoizue

Area 4



小塚荒神社

KOZUKA-SHRINE

入口には小さい鳥居があり、その奥には龍が綱でつくられています。その隣には、石碑があり、文字が書いてあります。

でんぐら堂

Dengura-Hall



「武兵衛よ、外記よ、帰ってくるのがおそかったぞ。さっきの大雨で飯つぶがちり、でんぐらでんぐら流されるようすは、まるで、いくさをしているようであった。これで、また一つ新しいいくさのしかたを見つけたぞ。」と言いました。それからのち、村人たちは、このお堂を「でんぐら堂」と呼ぶようになりました。水野勝成は、後に閲ヶ原の戦いで、大手がらをたて、福山十万石の城主となりました。「井原の昔話」より抜粋

下出部方面

shimoizue

Area 4



わたしたちの出部地区には、あまり知られてない公園があります。ここでは、そんな公園にある施設とわたしたちの目線から見たいい所を紹介します。



西部公園

おすすめ度 ★★★★☆



七日市公園

おすすめ度 ★★★☆☆



弦巻公園

おすすめ度 ★★★☆☆



七日市花野公園

おすすめ度 ★★☆☆☆



すこし離れたところになるので、あまり遊びに行くことはありませんが、その分すいていて、鉄棒、ブランコすべり台を独占できます。



ここで紹介した以外にも、各地区に2～3か所の公園があります。是非訪れてみて下さい。



上出部公園

おすすめ度 ★★★★☆

ブランコや藤棚のあるベンチ。トイレもあります。緊急避難場所にも指定されています。野球や、サッカーの練習など、たくさんの人数で遊ぶには向いている場所です。



袋田公園

おすすめ度 ★★★★☆

かわいいキリンが目印の公園です。キリンにはうんていやブランコすべり台がつながっています。遊びやすく楽しい公園です。私たちは、キリン公園と呼んでいます。



大曲公園

おすすめ度 ★★★☆☆

遊具が沢山あり土地も広いので、サッカーや野球などの大人数の遊びでも楽しめます。



たぶち公園

おすすめ度 ★★★☆☆

ファミリーロッジ旅籠屋の近くにあります。1978年につくられた歴史のある公園です。形は長方形で、広さは、小学校の運動場くらいあります。みんなで鬼ごっこをしたり、走り回ったりと、しっかり運動ができます。

腰折地蔵

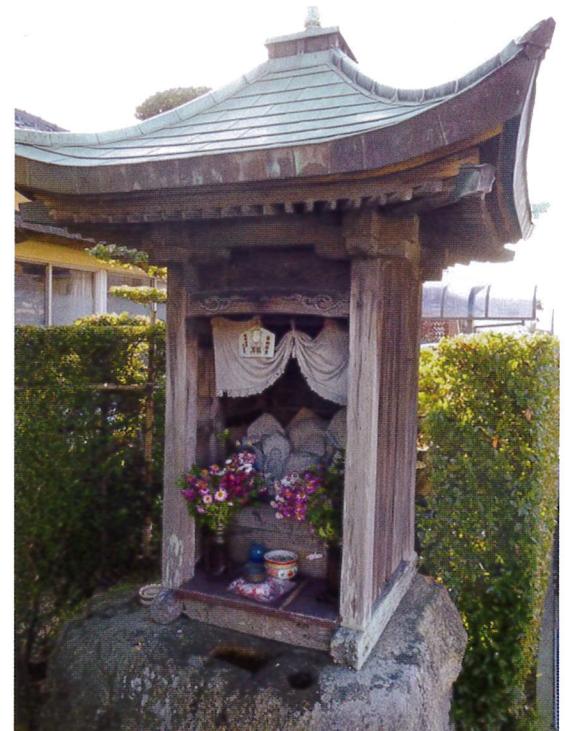
こしおりじぞう



下出部町大曲に『腰折地蔵』と呼ばれる有名な祠（ほこら）があります。これには、戦国時の世のあわれな物語がひめられています。

今から約450年ほど前、戦国時代の終わりごろ、下出部の南部の山頂に、戸木荒神山城という小さな山城がありました。そして、この城の城主、伊達大蔵は、七日市あたりに屋敷を構え、出部一帯を治めていました。

そのころ、身分は下でも実力のある者が、上の者をたおして天下をとるという下克上の風潮は、この備中あたりにもあり、地方の小城主までも、何かあると、となりの城を攻め滅ぼし、自分



の領地を広げようと、その機会をねらっているありさまでした。

当時、高越城主の一族、伊勢長左衛門は、出部方面にも勢力をのばそうと軍勢をのばそうと軍勢を差し向けてきました。

戸木荒神城主伊達大蔵は立ち上がり、この軍勢を軍之森（いくさのもり）[今の出部小学校付近]に迎え撃ち、ゆうかんに戦いましたが敗れてしまいました。

ときに、伊達大蔵のかわいらしい娘の新姫は追っ手を逃れようとして城から険しい山道をくだる途中、断がいを飛び降り、腰の骨を折って死んでしまいました。村人が、新姫をあわれに思い、大曲のたもとにまつたのが腰折り地蔵です。

今も、下出部町の道ばたに、ひっそりとたたずむ腰折地蔵の祠は、1m四方の平たい自然石の上に建てられた四方流れという優しく上品な形の屋根を持ち、姫をまつるのにふさわしいものです。

この、腰折地蔵は、その後、腰痛・安産の神様として御利益があると、多くの信仰を集めようになりました。

また、大願成就（願い事が叶ったこと）のお礼も、豆腐一丁の供え物で足りることから、だれでもおまつりできる神として、人々に親しまれてきました。

祠の中には数体のかわいい地蔵様がありますが、これらはみな大願成就の時納められたもので、ご本尊はいちばん奥の平たい大理石でできた地蔵仏です。

また、下出部町道城（どうじょう）には、伊達大蔵の墓があります。【この道城は伊達大蔵が討ち死にしたと言われる場所です。】この墓も昔から歯痛によく効くといわれ、多くの人がお参りし、治ったら黒豆をといって供えたそうです。

『郷土読本　ふるさと出部　より』



戸木荒神山城あと

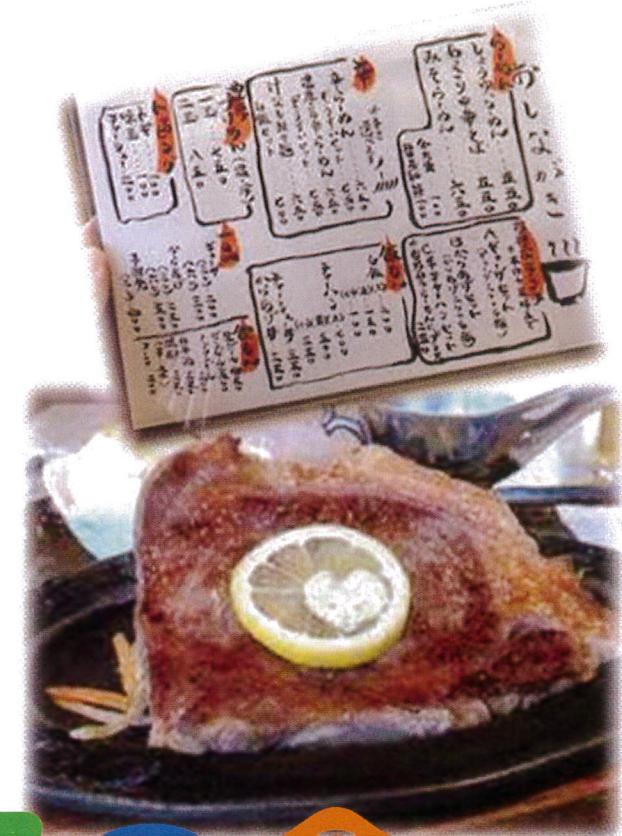


伊達大蔵の墓

腰折地蔵周辺のおすすめスポット

昼・夜ともに1日1組限定のレストラン。野菜は自家製農園で栽培しているそうです。西洋料理を出してくれます。前日の日までに電話で予約をしないといけません。出てくる料理は、どれもとてもおいしいです。「ラタティユ」「ポワレ」などの名前がついている料理が出ます。人気があるので、予約を取るのが難しいかもしれません。

レストラン 土手



出部の食



らーめん本舗 一松

唐揚げが美味しい。店長さん女将さんが優しく声かけをしてくださる。昼限定で、出汁に使った昆布の佃煮がもらえることがある。行列が出来ることがある。



大衆食堂 日本一

牛すじがおすすめ。牛すじうどんや牛すじ丼などがある。いろいろな定食もあって、量は多め。魚フライ定食の、ソースがとても美味しい。昼間は多くては入れないこともある。



酒菜料理 魚家

井原市産業文化センター1階にある。おしゃれで、落ち着く感じの店内で、居心地がいい。新鮮なお魚料理を中心で、ランチタイムはお手頃価格。ボリュームもあって美味しい。地場産業の駐車場に駐車できる。



中華そば専門店 笠北

純粋な笠岡ラーメンで、メニューはふつうか大盛りの二択。注文したらすぐにラーメンがくる。営業時間が短く混雑していることが多いので、運が悪いと食べられないことも。



キッチン 岂多川 (きたがわ)

「カツラーメン」をたのむと、ラーメンの上にトンカツがのっている。ラーメンはちぢれ太麺の札幌ラーメン。洋食店とラーメン店が一緒になっていて、洋食メニューではステーキやトンカツがリーズナブル。



遊 (Asobi) Cafe Takagi

井原駅構内にある、お洒落なカフェ。下出部にある「遊心美膳高木」が出したカフェで、店内にはデニムで作った星のインテリアがありとても素敵です。「ステーキ屋の本気のローストビーフ丼」はバツグンです。



亀隆 (きりゅう)

仕出しが中心のお店。テイクアウトで和牛焼き肉弁当、手作りハンバーグ弁当、天丼、カツ丼などがある。店内での飲食も可能で、焼き肉定食のお肉がおいしい。

Cafe ほしざら

美星町でとれた野菜などを使ったメニューが多い。メニューもハンバーグ、カレー、パスタ、デザートなど豊富で、どれも美味しい。井原駅から東に進むと、右側にある。





中華料理 紅蘭

一品一品にボリュームがある。皿うどんがおすすめ。かたい麺にとろ~りあんかけがたまらない。常連さんが多いようで、お昼にはいっぱいになることがあります。



たこ八

出部地区にある昔ながらのたこ焼き屋さん。店員さんは真夏でも、扇風機1つで頑張っている。たこ焼き、お好み焼き両方とも美味しい。たこ焼きは、8個で300円。具も大きくおすすめ。



ひだまりカフェ ぽっぽや

井原駅の中にあるカフェ。バランスのとれた食事ができて、子どもでも楽しめる。野菜も多く、ランチでは旬の野菜や果物もあって、とても美味しい。PIZZAには新鮮なトマトがのっている。



遊心美膳 高木

芸術品のように美しい前菜盛り合わせ、厳選された食材たちがお皿の上で奏でるハーモニーが楽しめます。コース料理が食べられる。高級感があるお店。誕生日や記念日にいきたいお店。



Mystery in Izue



白海公園の近くにある謎の石 1

- ・場所：白海公園の近く
 - ・特徴：形：五角柱 ヒビがはいっている
 - ・書いている字：天照皇太神...
 - ・雰囲気：ずっと昔からありそう
- コメント 書いているものに「神」とかいてあったから神を祀っていそう。



白海公園の公民館の近くにある謎の石 2

- ・場所：白海公園横
 - ・特徴：形：とうろうみたい
 - ・作り：石でできている
- 書いてあったもの：金
・あった物：五円玉がたくさんある



ジョイフルの近くにある謎の地蔵

- ・場所：ジョイフル近く
 - ・特徴：色：緑や茶色、ねずみ色など
 - ・大きさ：形はさまざま
 - ・雰囲気：お地蔵がたくさんあって不気味。
- ・コメント 誰かのお墓みたい



Mystery in Izue

auの後ろの謎の石とお供え物

- ・場所：auの後ろ
- ・特徴：色：ねずみ色 形、大きさはさまざま
- ・雰囲気：何かを祀っていそう。
- ・コメント 神社と関係がありそう



不思議な文字の時計盤？

井原市 笹賀町、ドラッグストアザグザグの裏にある石碑です。時計のような模様が刻まれています。人気がなく、近くに井戸があります。車では行くことが難しく、徒歩がメインです。



不思議な形の石や金色のもの

井原市 笹賀町、エディオンショップファミリー電化店の隣にある井森神社にあります。小さいですが金色の置物があります。きれいに整備されているので、オススメです。駐車場はありません。

学校長より

今までになかった子ども目線の「出部」の冊子ができあがりました。子どもたちの生涯のふるさと「出部地区」を愛するためには、まず「出部地区」を知らなければなりません。出部には、これまで多くの努力を重ねて作成された出部地区に関する貴重な資料があり、子どもたちの学びの拠り所となっています。そして、今回このような子どもの暮らしに深く関わった、また違う（多面的・多角的）視点での資料ができ、より一層出部地区の魅力を発見することができるものと思っています。井原市の全市民で進める『ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業』の推進に向けた取組の一つとして大変意義深いものと言えます。

今後も、この「子どもによる子どものための資料」が出部小学校の子どもたちの手により、さらなる情報の厚みが増していくことを願っています。



井原市立出部小学校 校長 森川孝一

編集後記

平成11年に「郷土読本 ふるさと出部」が刊行され、出部地域の歴史が広くまとめられました。今回、私たち出部小学校の6年生で、この「郷土読本 ふるさと出部」をもとにして、自分たちの足で再度取材を行い、出部地域の魅力を再発見できるよう本にまとめました。 今回は、私たちの目線から見た「遊び場」「食」などのカテゴリー別に分類してみました。少しでも多くの人に目に触れ、新しい出部の魅力を伝えることが出できればと願っています。

令和4年3月 出部小学校6年生一同